

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	06	01	104690	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興	
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催			
目的	スポーツ大会・合宿誘致に向けた支援を行う。					
対象	はなまきスポーツコンベンションビューロー、花巻市体育協会					
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。					
事業概要	スポーツコンベンションビューロー負担金 704千円 スポーツ合宿支援事業補助金 0千円 スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 4,159千円 ポート日本、ベルギー代表歓迎事業 932千円 大会・合宿誘致推進PR経費 0千円					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	全国規模のスポーツ大会誘致件数	件	計画	6.00	6.00	
			実績	5.00	1.00	
2	スポーツ合宿誘致件数	件	計画	6.00	6.00	
			実績	7.00	2.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	大規模スポーツ大会・イベントの入込者数	人	目標	195,000.0	134,000.0	
			実績	144,933.0	44,915.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
新型コロナウイルス感染症拡大により首都圏の旅行会社訪問が10月となった。いわてスポーツコミッションが主催する合宿相談会は11月、仙台での開催となり参加した。また、11月に首都圏の旅行会社を招待し市内スポーツ施設、温泉施設の現地調査など可能な範囲での事業を行ったが当初計画していた事業ができなかったこと。また、首都圏等県外からの誘致ができなかったことなど、スポーツ大会・合宿誘致事業の成果を上げられる状況ではなかった。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である
今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初の計画事業のとおりできなかったことから事業の見直しなどを余儀なくされた。結果、大規模スポーツ大会・イベントの入込者数が44千人にとどまり成果を上げられなかったがこの状況下の市内温泉施設会員へコロナ感染症対策として、マスクを配布するなど支援を実施した。 令和2年度支援した全国規模の大会・合宿誘致 ・第45回日本ハンドボールリーグ花巻大会（12月5日開催、無観客） ・ポート日本代表強化合宿（7月20日～8月7日、8月16日～9月4日）
総合評価	全国大会の誘致については、2～3年以上前に決定されることがほとんどであり、今後の感染症の状況を見ながら旅行会社との情報共有や県南市町村等広域的な誘致活動やいわてスポーツコミッションの活動など人的ネットワークをフルに活用しさらなる誘致活動を進める。
次年度に向けて	

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	02	104740	スポーツ施設環境整備事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催		
目的	スポーツ施設の環境整備を行う				
対象	市民、全国の都道府県代表選手団				
意図	快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会等に備える。				
事業概要	スポーツ施設改修・整備 212,065千円（うち繰越明許費 54,079千円） 花巻球場 高圧受電設備改修実施設計・観覧席防水改修実施設計、大迫テニスコート 人工芝張替実施設計、武徳殿 耐震補強・天井改修工事、和田プール ろ過装置改修工事・給湯暖房温水器更新、東和ふれあい施設 屋根シート張替実施設計・耐震調査設計、鉛温泉スキー場 第1・第2リフト改修、総合体育館 エントランス屋根防水修繕、日居城野陸上競技場用備品購入、市民プールプールサイド改修工事、矢沢・花南・湯本地区社会体育館トイレ洋式化、宮野目地区社会体育館改修実施設計				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	H31	R02
				R03	
1	施設整備件数	件	計画	10.00	13.00
			実績	12.00	13.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H31	R02
				R03	
1	施設利用者数	人	目標	750,000.0	750,000.0
			実績	649,437.0	324,491.0
2			目標		
			実績		
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症予防対策のために（武徳殿については耐震補強・天井改修工事のため）施設利用ができない状況が長く続いたことも目標値より低くなった要因となっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。今後においても、各種大会等の開催に向けて必要な施設整備は必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	利用者アンケートを反映させることにより、市民ニーズにマッチした施設整備を図ることによって、市民がよりスポーツを行う機会の増加を図れる。また、大規模大会を開催できる施設を整備することによって、国体後も市外からの施設利用者が増加し、交流人口の増大が図られる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	施設の利用状況に応じて必要最小限の整備を行っているが、大規模大会等を誘致できる施設を整備するためには、最大限の施設整備も必要となる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要がある。また、大規模大会等の会場として競技会場の整備費を負担することは適正である
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	大規模大会・合宿誘致関連施設や地域スポーツの拠点施設を整備し、施設利用環境の向上が図られた。
	次年度に向けて	今後においても、各スポーツ施設について、大規模大会・合宿誘致関連施設や地域スポーツなどにも対応する計画的な施設の改修整備を図っていく。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	06	01	104920	インターハイ開催事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興		
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催				
目的	スポーツ大会・合宿誘致に向けた支援を行う。						
対象	インターハイ参加者（選手、役員）、運営スタッフ、高校生						
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。						
事業概要	2020年度 令和2年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会の開催中止 実行委員会の解散 決算概要（計871千円） 会計年度任用職員報酬等 871千円（4か月雇用） 実行委員会負担金 0千円						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	大会出場チーム		人	計画		98.00	
				実績		0.00	
2	大会参加人数		人	計画		1,605.00	
				実績		0.00	
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大により開催中止となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設などの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、交流人口の一層の拡大を図ることができる。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	高等学校体育連盟、ハンドボール協会及び岩手県等と連携し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ることができる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	競技団体等との連携のもと、事業費も削減し、少人数での運営に努めている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	花巻市の地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、一層の交流人口の拡大を図ることができる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症拡大によりインターハイ全競技種目が開催中止となったため、県実行委員会への負担金支出なし。会計年度任用職員の雇用は4月から7月までの4か月間となった。
	次年度に向けて	

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	06	01	104950	東京2020オリパラ関連イベント開催事業	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興	
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催			
目的	スポーツ大会・宿泊誘致に向けた支援を行う。					
対象	オリパラ参加者（関係者、観客）、運営スタッフ					
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。					
事業概要	東京2020オリンピック聖火リレーの開催 0千円 東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの開催 0千円 東京2020コミュニティライブサイトの開催 0千円 東京2020オリ・パラ準備業務 789千円					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	2020オリパラ関連イベントの開催	回	計画		2.00	
			実績		0.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	聖火リレー観覧者数	人	目標		2,000.00	
			実績			
2	聖火フェスティバル観覧者数	人	目標		200.00	
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
東京2020オリンピック・パラリンピック事業が1年延期したことに伴い、予定していた事業がすべて実施できなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	オリンピック開催年に、市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるため、スポーツに取り組む環境づくりや競技力の向上が図られる事業であり、妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	市民への普及・意識付けができる有効性の高い事業である。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	組織委員会の徹底的な管理によって行われるものであり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるために即効性があり、地域社会全体ですべてのスポーツ推進に取り組む体制づくりにつなげていくことができる事業である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、東京2020オリンピック・パラリンピック事業が1年延期となり、事業の練り直しを実施した。また、本市出身の20km競歩で代表内定の高橋英輝選手応援展示や1964年東京大会における当市での聖火リレーの様子や当市ゆかりの選手を紹介する展示を行い、大会開催に向け機運を高めた。
	次年度に向けて	事業実施方法等を見直しを図り、感染症対策を図り、聖火リレー及び聖火フェスティバルを安全安心に開催する。